

革新的な数値天気予報と被害レベル推定に基づく高度な気象防災

Innovative numerical weather predictions and advanced weather disaster prevention based on damage-level estimation

*瀬古 弘^{2,1}、三好 建正³、斉藤 和雄^{1,2}、新野 宏⁴、田村 哲郎⁵、国井 勝¹

*Hiromu Seko^{2,1}, Takemasa Miyoshi³, Kazuo Saito^{1,2}, Hiroshi Niino⁴, Tetsurou Tamura⁵, Masaru Kunii¹

1.気象研究所、2.海洋研究開発機構、3.理化研究所計算機科学研究機構、4.東京大学大気海洋研究所、5.東京工業大学

1.Meteorological Research Institute, 2.Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology, 3.RIKEN Advanced Institute for Computational Science, 4.Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 5.Tokyo Institute of Technology

「観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化」のサブ課題A「革新的な数値天気予報と被害レベル推定に基づく高度な気象防災」では、世界の最先端の観測技術である気象衛星ひまわり8号やフェーズドアレイレーダー等で観測した「これまでにない高頻度・高密度な観測データ（観測ビッグデータ）」と最先端の計算機である「京」やポスト「京」を結びつけ、これまで困難であった「災害を引き起こすような集中豪雨等のより早い予測（より長いリードタイムの獲得）」、「局地的大雨や竜巻の親雲など突風を起こす積乱雲の予報精度の大幅な向上」を目指す。本発表ではプロジェクトの目的や研究体制、これまでの成果について紹介する。